
4032. 卸コンテナ情報変更

業務コード	業務名
DCX	卸コンテナ情報変更

1. 業務概要

卸コンテナリストに対して内容が誤っている場合は、本業務で以下の変更を行うことができる。

- ①サイズ、タイプ等、卸コンテナリストに登録されているコンテナ情報の訂正
- ②卸コンテナリストに登録されているコンテナ番号の変更
- ③卸コンテナリストに登録されているコンテナ番号の削除

提出済の卸コンテナリスト提出番号のみ対象とし、卸コンテナリストを提出してから7日以内（日曜日・祝日を除く。）に限り可能とする。

本業務は税関の執務時間内外にかかわらず行うことができる。

なお、本業務では卸コンテナリストを訂正し、コンテナ情報についてはコンテナサイズコード、コンテナタイプコード及びコンテナ条約適用識別のみ変更するため、その他の内容に対するコンテナ情報または貨物情報を訂正する場合は、船卸前であれば「積荷目録情報訂正（CMF01、CMF02またはCMF03）」業務、船卸後であれば「輸入貨物情報訂正（SAI）」業務を行う必要がある。

2. 入力者

通関業、船会社、船舶代理店、CY

3. 制限事項

1業務で訂正、番号の変更及び削除可能なコンテナ番号は最大20件とする。

4. 入力条件

(1) 入力者チェック

- ①システムに登録されている利用者であること。
- ②卸コンテナリスト提出者と同じ利用者であること。

(2) 入力項目チェック

(A) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(B) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(3) 卸コンテナ一覧DBチェック

- ①入力された卸コンテナリスト提出番号に対する卸コンテナ一覧DBが存在すること。
- ②卸コンテナリスト提出済であること。
- ③卸コンテナリストを提出した旨が登録されているコンテナが存在すること。
- ④訂正、番号の変更及び削除を行うコンテナが卸コンテナ一覧DBに登録されていること。

(4) コンテナ情報DBチェック

(A) 訂正を行うコンテナの場合

- ①入力されたコンテナ番号（変更前）に対するコンテナ情報DBが存在すること。
- ②入力された卸コンテナリスト提出番号が登録されていること。
- ③運送中でないこと。
- ④貨物差止め登録で差し止められたコンテナでないこと。

(B) 番号の変更を行うコンテナの場合

(a) 入力されたコンテナ番号（変更前）に対するコンテナ情報DBが存在し、入力された卸コンテナリスト提出番号が登録されている場合に以下のチェックを行う。

- ①運送中でないこと。
- ②貨物差止め登録で差し止められたコンテナでないこと。

(b) 入力されたコンテナ番号（変更後）に対するコンテナ情報DBが存在した場合に以下のチェックを行う。

- ① 仮陸揚コンテナでないこと。
 - ② 輸出コンテナでないこと。
 - ③ コンテナ条約適用外でないこと。
 - ④ 「積荷目録提出（DMF）」業務がされていること。（SAI業務やシステム外搬入確認*¹で作成されたコンテナを除く。）
 - ⑤ 未通関コンテナであること。（SAI業務やシステム外搬入確認*¹で作成されたコンテナを除く。）
 - ⑥ 運送中でないこと。
 - ⑦ 事故情報が登録されているコンテナの場合は、税関による事故確認登録がされていること。
 - ⑧ 貨物差止め登録で差し止められたコンテナでないこと。
 - ⑨ 以下の項目と卸コンテナ一覧DBに登録されている内容が同一であること。
 - ・ 船舶コード
 - ・ 船卸港コード
 - ・ 船卸港枝番
 - ・ 船会社コード
 - ・ コンテナオペレーション会社コード
 - ⑩ 「システム外CY搬入確認（B/L単位）（事前登録）（CYD01）」業務で作成されたコンテナの場合は、「システム外CY搬入確認（一括搬入）（CYE）」業務がされていること。
- （*1）システム外搬入確認とは、「システム外CY搬入確認（コンテナ単位）（CYB）」業務、「システム外CY搬入確認（B/L単位）（CYD）」またはCYD01業務をいう。

(c) 削除を行うコンテナの場合

入力されたコンテナ番号（変更前）に対するコンテナ情報DBが存在し、入力された卸コンテナリスト提出番号が登録されている場合に以下のチェックを行う。

- ① 運送中でないこと。
- ② 貨物差止め登録で差し止められたコンテナでないこと。

5. 処理内容

(1) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-0000-0000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-0000-0000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

(2) 卸コンテナリスト提出官署決定処理

「卸コンテナ情報登録（提出）（DCL02）」業務等で決定した税関官署の保税担当部門を提出官署とする。

(3) 卸コンテナ一覧DB処理

- ① 訂正を行うコンテナの場合は、入力されたコンテナ情報を更新する。
- ② 番号の変更を行うコンテナの場合は、コンテナ番号を書き換え、入力されたコンテナ情報を登録する。
- ③ 削除を行うコンテナの場合は、当該コンテナ番号を削除する。
- ④ すべてのコンテナ番号が削除された場合は、当該卸コンテナ一覧DBをシステムより削除する。

(4) コンテナ情報DB処理

(A) 訂正を行うコンテナの場合

入力されたコンテナサイズコード、コンテナタイプコード及びコンテナ条約適用識別を更新する。

(B) 番号の変更を行うコンテナの場合

(a) 入力されたコンテナ番号（変更前）に対するコンテナ情報DBが存在し、入力された卸コンテナリスト提出番号が登録されている場合に以下の処理を行う。

①卸コンテナリスト提出番号を取り消す。

②卸コンテナ自動抽出対象外の旨を登録し、「船卸確認登録（一括）（PKI）」業務で自動抽出しない。

(b) 入力されたコンテナ番号（変更後）に対するコンテナ情報DBが存在した場合に以下の処理を行う。

①輸入許可した旨を登録する。

②船卸後の輸入空コンテナの場合は、削除表示を設定する。

③入力されたコンテナサイズコード、コンテナタイプコード及びコンテナ条約適用識別を更新する。

(C) 削除を行うコンテナの場合

入力されたコンテナ番号（変更前）に対するコンテナ情報DBが存在し、入力された卸コンテナリスト提出番号が登録されている場合に以下の処理を行う。

①卸コンテナリスト提出番号を取り消す。

②卸コンテナ自動抽出対象外の旨を登録し、PKI業務で自動抽出しない。

(5) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
卸コンテナリスト変更情報	なし	税関（保税担当部門）
卸コンテナリスト内容変更通知情報	卸コンテナリスト提出番号に係るすべてのコンテナ番号が取り消されていない場合	入力者
卸コンテナリスト内容変更情報	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 入力された卸コンテナリスト提出番号に保税地域が登録されている (2) 入力者と当該保税地域を管理する利用者が異なっている (3) 入力されたコンテナ番号（変更前）のうち、蔵置されているコンテナが存在する	保税地域
	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) コンテナ管理者コードに船会社コードが登録されている (3) システム参加の船会社である	船会社
	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 入力されたコンテナ番号（変更前）のうち、PKK業務またはPKI業務が行われていないコンテナが存在する (2) 入力者と当該コンテナの積荷目録情報登録者が異なっている (3) 当該コンテナの積荷目録登録者とコンテナ管理者コードの船会社に対応する利用者が異なっている	積荷目録情報登録者